

すくいし 議会だより

No.81
編集／議会広報編集特別委員会



●今号の主な内容

3月定例会のあらまし…2～4

予算特別委員会…5～8

平成24年度予算の議決に関する討論…9～10

常任委員会の活動報告…11

町の考えを問う

一般質問 11議員が登壇…12～22

臨時会／議会改革特別委員会…23

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り 47…24～25

3月定例会のあらまし

予算総額136億4,113万円を可決 「プロジェクト先導型まちづくり」スタート

平成24年3月定例会は、2月29日から3月19日までの20日間の会期で行われました。

冒頭に町長の施政方針演述と教育委員長の教育施策方針演述があり、本年度の本町の方向性が示されました。

この中で、町の持続的な発展と復興支援にも寄与できるよう、町の未利用地および未活用資源等の活用を視野に入れたモデルプロジェクトを立ち上げ、総合計画に基づいた分野ごとの研究を早稲田大学との官学連携による「プロジェクト先導型まちづくり」に取り組むことが表明されました。

本定例会では予算案件が12件、条例の制定案件が1件、条例の一部改正案件が14件、補正予算案件が12件、報告案件が3件、指定管理者の指定が3件、国土利用計画雫石町計画が1件あり、これらの計46件の案件は全て原案通り可決・同意しました。

そのほかに、陳情が1件ありましたが不採択としました。

一般質問は、11名が登壇し、3日間にわたり町当局の考えをただしました。

条例の制定

○雫石町職員の修学部分休業に関する条例の制定について

地方公務員法に規定する修学部分休業に関し必要な事項を定めるための制定。

条例の一部改正（主なもの）

○雫石町課設置条例の一部改正について

雫石町行政改革大綱に基づく組織機構改革の実施などに伴う改正。

体制強化のため防災課の設置、業務内容の整理統合等による課の名称変更や統合などの改正。

問 防災課設置の狙いは。

答 東日本大震災を受け、国・県も危機管理体制に力を入れている。これを機に町も町民を守る体制の強化を図るものである。



新しく設置された防災課

○雫石町長専決条例の一部改正について

少額訴訟や支払督促の手続きを町長の専決処分事項とし、債権管理を迅速に行うための改正。

○雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

物産振興指導員、学力向上指導員の職の新設、他職の廃止などに伴う所要の改正。

○雫石町介護保険条例の一部改正について

第5期介護保険事業計画に基づき平成24年度から平成26年度までの介護保険料について定めるための改正。

公の施設の指定管理者の指定に関し 議決を求めることについて

(指定の期間 平成24年4月1日から平成28年3月31日まで)

施設名称	指定管理者
七ツ森保育所	社団福祉法人 のぞみ会 理事長 菊池敏夫
コテージむら管理センター	特定非営利活動法人 しずくいし・いきいき暮らしネットワーク 理事長 西山甲士良
雫石町体験農園	特定非営利活動法人 しずくいし・いきいき暮らしネットワーク 理事長 西山甲士良

問

指定管理の再指定に際し、なぜ公募しなかったのか。再指定するのなら経費の縮減が図られるなどメリットがなければならない。保育所は滝沢に比べ単価も高い。随意契約同様、理由を明確にし公開せよ。

答

経費を含め再指定に至った理由をさらに明確にしていく。

問

現在33施設が指定管理されている。県の温水プールの例では、体育協会が公募で外れ、今まで働いていた者の雇用問題が発生した。公募は原則であるが、さまざまな問題を含んでいる。今後の指定管理の基本方針は。

答

原則公募を外してはならないが、施設の目的、雇用、教育環境等総合的に見て、地域に得になるような判断をしていく。



管理者が変わった温水プール

一般会計補正予算(平成23年度主なもの)

○一般会計補正予算(第7号)

補正前の額	補正額	計
86億6,419万9千円	△1億7,303万8千円	84億9,116万1千円

- ▶防犯街灯LED改修工事 1,810万0千円
- ▶介護保険事業勘定特別会計繰出金 3,889万3千円
- ▶財政調整基金積立金 △5,224万5千円

○一般会計補正予算(第8号)

補正前の額	補正額	計
84億9,116万1千円	1億7,219万6千円	86億6,335万7千円

- ▶財政調整基金積立金 1億6,693万0千円
- ▶町道除雪業務委託料 2,460万0千円

主な質疑

問

除雪業務委託料は22年度に比べ多いようだが、23年度合計は。

答

9,030万円の予算額である。

問

NPOに収支(作業員への支払賃金を含め)、パトロール状況など除雪に係る報告を求める。

答

シーズンが終了次第報告を求めたい。



今シーズンの雪の多さに除雪費が膨らんだ

特別会計補正予算(主なもの)

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	計
20億423万1千円	1億3,674万9千円	21億4,098万0千円

- ▶一般被保険者療養給付費 9,904万1千円

○介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

補正前の額	補正額	計
14億398万4千円	1億3,211万3千円	15億3,609万7千円

- ▶居宅介護サービス給付費負担金 4,033万5千円
- ▶施設介護サービス給付費負担金 7,578万1千円

○陳情第1号 医療従事者の増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書(不採択)

看護師など夜勤交代制労働者の労働時間適正化、医療、社会保障予算をOECD並みに増やし、医師・看護師・介護職員などを増員することなどの陳情。

趣旨は理解できるが、国民負担の増加につながることも、また、自助努力の必要性も認められることから、本件は周知にとどめ不採択。

町当局に 6 項目の意見を提言

意見

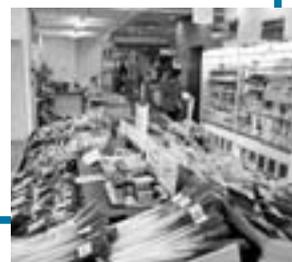
1

町税収納率の向上、自主財源の確保、公平公正な税務行政のため、さらなる町税収納向上を目指すべき。

意見

2

(株)しずくいで3年間も継続している不採算部門は構造改革すべき。



意見

3

まちおこしセンターは本来の使命（地場産品の開発・提供、歴史文化・伝統に関する情報発信等）をすべき。



意見

4

各議員の一般質問等に対して答弁したことは、当局のそれなりの約束であり、言葉だけでなく、実践する方向で取り組むべき。

意見

6

日中は消防団員が不足するため、役場職員で消火班を設置しては。



意見

5

補助金、委託事業について第三者を入れた事業仕分けを行うべき。

トピックス

突然水路に水が来なくなったのはなぜ？

竜川、葛根田川、南川の頭首工5箇所（日影堰、篠川原、駒木野、高藤、逢滝）から取水する農業用水は、河川管理者から取水量・期間等の許可を得て取水しており、河川法に基づく水利使用規則により適切な取水管理を厳守しなければなりません。許可期間以外には取水できないことと許可取水量を超えてはいけないことになっているため、昨年からは水が止まった状態となり、各地でさまざまな影響が発生しています。

この用水は農業のみならず、生活排水を浄化し地域の環境を守っている他、防火用水、生活系用水とその機能は多大であり、非農家を含む全町民が恩恵にあずかっています。町は、公益性の高いこの機能を維持させるため、下記を基本方針として非灌漑期間の水利権を取得する「地域水ネットワーク再生事業（事業主体は土地改良区）」に対して、助成を行うこととしました。

- ①町民および生息する生物に対し、健全な機能を確保する
- ②水路としての健全な機能を確保する

予算を徹底チェック

平成 24 年度各会計当初予算の成立までの推移



平成24年度各種予算審査の中で取り上げられた主な質疑内容

歳入総括

問 平成 24 年度の歳入構造を見ると、平成 23 年度と比べ自主財源比率が約 1 億 1,500 万円、4.5% のマイナスとなっているが今後の動向は。

答 現行制度の中で、住民人口が減っていき、経済情勢が厳しく町民所得も上がらない見通しで、今後も非常に厳しい状況になっていくと思われる。

問 平成 22 年度徴税収納率が 92.5% で、県内自治体の中で 13 番目の位置づけであり、不能欠損 3,657 万円、収入未済額 1 億 3,816 万円でトータル 1 億 7,475 万円となっているが、平成 23 年度の見通しは。

答 収納率は一般会計で 93.5%、国保会計で 81.8% と見込んでいる。欠損見込額は、一般会計、国保会計を合わせて約 2,300 万円で平成 22 年度比 36.6% くらいの減少である。

総務費

問 農林統計協会で行っていた農林所得統計がなくなっているが、農業指導センターと農林課職員が一緒になって作成してはどうか。

答 過去に取り組んでいた地域農業センター、農政事務所に営農指導員が赴いて調査手法を学んできた。今後も指導を仰ぎながら充実した内容の数値を求めていきたい。

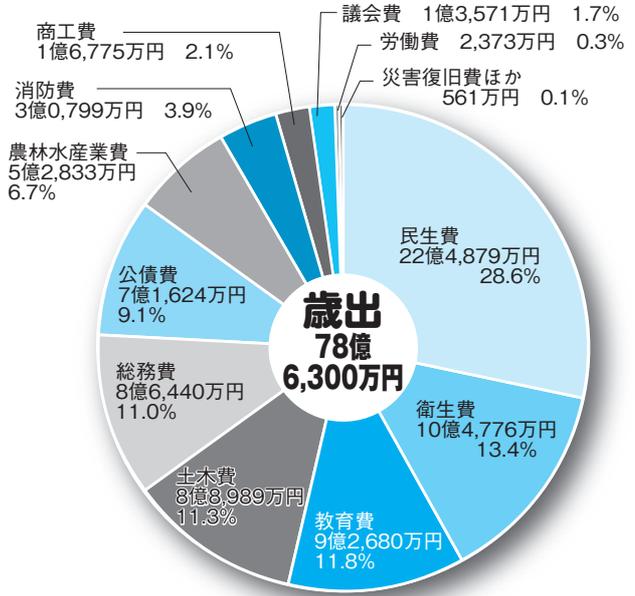
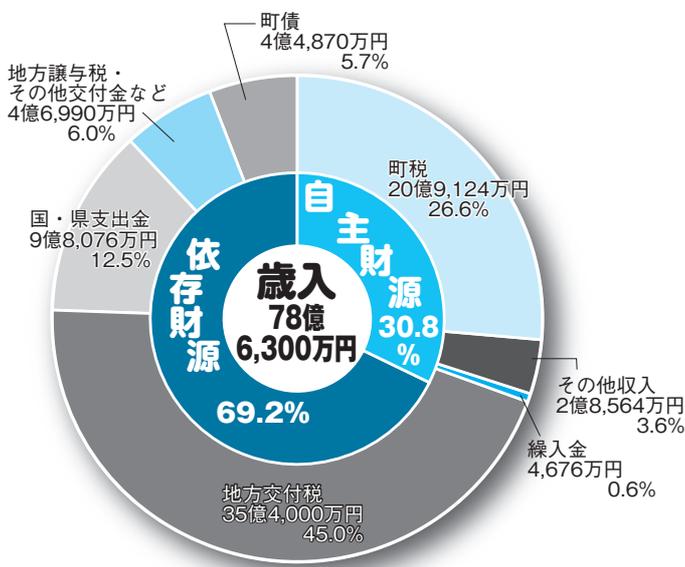
問 県議会予算特別委員会で退職者への特別昇給が 18 市町村で存続しているとの報道があったが、当町で行われている中身はどうか。

答 職員退職勧奨制度であるが、退職する 45 歳以上 59 歳までの職員で、勤務が 10 年以上の職員が対象になる。25 年以上の勤務では 4 号給（今年度の例では 2,400 円）付加した特別昇給で計算、実施されている。

数字で見る予算

一般会計

歳入・歳出の内訳



問 職員の昇給に関して、人事考課が反映されているか。

答 平成 17 年度以降、実施している。試行期間が長いと思われるが、もう少し浸透期間が必要である。期末手当においては勤務手当算定に人事考課を参考にしている。

問 院外処方にしても経営面にはあまり影響しないのでは。やはり人件費が一番だと思うが。

答 院外処方によって全体的な収入も減り、人件費比率が 85% 以上になるようなことも予測される。診療所の経営者会議などに取り組むことで、町長と打ち合わせしている段階だ。

衛生 / 民生費



院外薬局となる雫石診療所

問 雫石診療所がオープンしてまだ数年なのに、なぜいま院内薬局から院外薬局に変えるのか。

答 平成 19 年に病院から診療所に移行して 5 年経つが、経営面で一番突出しているのが医薬品費と人件費だ。30 年前から医薬分業というのが国の方向で進められており、収支のバランスを少しでも改善していくためのものである。

問 あねっこバス運営業務委託は、毎年同じような金額で NPO 法人が受注しているが、そのことに疑問を持っている町民もいる。今回も NPO 法人を対象にするのか

答 平成 24 年度は運行単価の見直しを行ったが、運行体制は現行のままと考えている。



NPO 法人が運営しているあねっこバス

町民一人あたりの歳出金額

ワンポイント解説

民生費……主に高齢者、障害者、子どもの福祉に使うお金



公債費……町債（町の借金）返済に充てる経費



商工費……町内の商工業の支援や観光振興などに使うお金



労働費……雇用対策や勤労者の支援に使うお金



衛生費……健康づくりや環境対策、ごみ処理などに使うお金



平成24年3月末
人口18,068人で試算

435,299円

議会費
7,622円

総務費
47,842円

民生費
124,462円

衛生費
57,990円

労働費
1,313円

農林水産業費
29,241円

商工費
9,284円

土木費
49,252円

消防費
17,046円

教育費
51,295円

災害復旧費
34円

公債費
39,641円

予備費等
277円

問 ごみ収集業務委託料と資源物等処理委託料が、前年度と比較すると下がっているのはどういうわけか。

答 滝沢村の算定方式を取り入れ、委託設計の見直しを図ったことによる。資源物等処理は作業員1名分の人件費が減ったことによる。

農林水産業費

問 地域水ネットワーク再生事業補助金とはなにか。

答 昨年9月上旬、町内の農業用かんがい用水路の取水口の門が一斉に閉ざされ、町民生活に影響を与えたことから、通年水利権を取得するため、土地改良区に対する補助金として計上した。



水利権の取得に町から補助金が支出される

問 補助額 937 万 5 千円の根拠は。

答 事業費の 2,500 万円のうち、国が半分の 1,250 万円を拠出し、雫石土地改良区が残りの半分の 1,250 万円拠出することに対して 75% の補助額に当たるものである。

問 75% は妥当な数値か。

答 本来の補助事業は 50% の補助率であるべきだが、町民生活に対する重要度で 75% と判断したものである。

土木費

問 樹木等維持費管理業務の委託料を業者に頼むのではなく、地元の方々・シルバー人材の活用を。

答 地元およびシルバー人材の活用は平成 24 年度に検討したい。

観光商工費

問 まちおこしセンターにすでに1億642万円もかかっているが、今後の町の取り組みは。また、まちおこしにつながる特産品開発に取り組んでいただきたい。

答 今年度商工会が第一の重点事業として、まちおこしセンターの経営改善として取り組む。



「しづく館」の経営改善は急務

教育費

問 図書館の利用率を向上させるための具体的な施策はあるか。

答 特別会議室の利用方法・休日運用などを検討していく。

問 国体開催に向けて町として複数種目誘致の状況と町選手の強化費削減の理由は。

答 アーチェリー以外は検討はしていない。強化費は対象選手が現れれば出したい。

問 小中の教育振興扶助費・給食扶助費はなぜ増額傾向にあるのか。

答 就学援助費として要・準要保護世帯の経済的負担の軽減のため援助であり、学用品・給食費・来年度は体育用具代の援助などが含まれ増額となっている。

問 給食での町内産品の利用率とスクールバスの冬の運行の配慮はどのようになっているか。

答 地場産品の割合は30%を切るくらい。冬場の運行については既定距離にとらわれず、車両定員を踏まえながら運行している。

問 学力向上の具体的内容と教育委員会と現場との資料公開のギャップは。

答 退職教員と教諭の事業研究を重ね指導力の向上を図り、長期休暇中の課外指導を予定。資料公開については、現場と話し合っ発表する。

岩手県学習密着度状況調査より
(平成23年11月8日実施)

1年生(3教科)

教科	国語	数学	英語
雫石中	61.1	56	70.5
岩手県	65.5	60.3	77.2

2年生(5教科)

教科	国語	社会	数学	理科	英語
雫石中	66.5	52	43.2	52.4	54.7
岩手県	65.8	51	51.6	56	59.5

問 体育館に暖房設備の導入予定はあるか。

答 現在は暖房整備の予定はないが、体育館の耐用年数等も考え具体的に検討する。

特別会計

問 御明神財産区は基金から249万8千円を繰り入れしているが、財産収入、立木売り払い収入等を1年間は見込めないのか。

答 直営の山についての伐採は予定にない。官行造林の伐採を予定しているが、金額はつかめない。平成25年度については間伐促進事業や森林整備事業を導入し収入を確保したい。

問 介護保険料が4,740円となり、上げ幅は1,402円で岩手県の中では一番だがどうか。

答 上げ幅は高いが、これで県の平均値になる。高齢化社会であるが病気にならず健康でいてほしい。

総括

問 委託料に関して、毎年12億から13億くらいの支出があるが、雫石町の予算規模が縮小していく傾向がある中で、補助金、委託料の中身を精査検討を早急にやる必要があるのではないかと。

答 「改善し、対処しなさい」とのことであるから肝に銘じて、関係各課それぞれ、持っている事業全てにわたって精査しながらやって行く。

討論

反対 西田征洋議員

地方債発行残高の減少率の鈍化が著しくなる懸念がある。農業所得向上の具体策が見えない。子供たちの医療費の町単独助成を18歳まで広げてという町民の要求に沿ってもらえない。NPOに対する委託料の問題でも不透明さが残り、町民の不満、不安を解消し切れてない。国保では、国が本来負担すべきものをしないまま高い負担を押しつけ、町がその負担軽減に必死になっていることには最大限評価したいが、保険料が高いことで、国に本来の負担をするよう迫ってほしい。御明神財産区は、解消すべきである。介護保険は、大変な負担増となった。後期高齢者医療制度は、高齢者だけを囲い込み、町民に負担を押しつける制度である。以上により反対する。

賛成 前田隆雄議員

水路の水利権の問題では、地域住民に十分な説明責任も果たさず水を止めてしまった管理機関には、不満を超え強い怒りが込み上げてくる。大事な案件であればあるほど単独案件として扱うべきであったと考える。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度、これは行政の負担、受ける者の負担、人間が人間を人間として守っていかねばならない使命、現状、今後を考えるとつらい。完璧とはいえないにしても、厳しい財政状況の中で適材適所をとらえての予算であり、町長の、少しずつ自らのカラーを示しながらも財政健全化に向けてのたゆまぬ努力と指導力、職員の努力と結束力を信じ、そしていい町をつくりたいという町長の決意を重く受けとめ賛成する。

賛成 大村昭東議員

雫石ローカルマニフェスト2010に基づく総合計画を着実に推進するために、政策評価の手法により平成22年度施策および事務事業評価、検証、課題の抽出を行い、実施計画へと反映させた。目指すべき町の将来像の実現に向けて編成された平成24年度予算に、作成、選択、実行、評価というマネジメントサイクルを回し、緊張感を持ってリスクマネジメントすることを望み、賛成する。

なお、各予算案の執行に当たって意見等をつけ加える。1. 一般会計の委託料は、総額約11億7,000万円(14.87%)である。町単独補助金を含め、第三者による外部評価を行うなど事業仕分けを実行すべき。2. 土地改良区に対する支援は当然という既得権ではないのであり、経営改善による自助努力を促し、安易な高額の支援は断ち切るべき。

平成24年第2回雫石町議会3月定例会 議決結果等一覧

議案番号	議案名	議員名	田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤真純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄	煙山惣右衛門	石亀貢	採決結果	
議案第1号	雫石町職員の修学部分休業に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町課設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	雫石町長専決条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	雫石町税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	雫石町介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	雫石町農業指導センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	雫石町地域振興センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	西山地区構造改善センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	雫石町御所地区健康増進センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	雫石町災害対策本部条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成24年度予算の議決に関する討論

議案番号	議案名	議員名																		採決結果	
		田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤真純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄	煙山惣右衛門		石亀貢
議案第12号	雫石町公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	雫石町公民館使用料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	雫石町立図書館設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	平成23年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	平成23年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	平成23年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	平成23年度雫石町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	平成23年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	平成23年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	平成23年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	平成23年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	平成23年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	平成23年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	平成23年度雫石町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	平成24年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	平成24年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	平成24年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	平成24年度雫石町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	平成24年度雫石町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	平成24年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	平成24年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	平成24年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	平成24年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	平成24年度雫石町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めること(七ツ森保育所)	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めること(コテージむら管理センター)	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めること(雫石町体験農園)	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	国土利用計画雫石町計画(第二次)を定めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	雫石町営住宅等管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	平成23年度雫石町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 ※猿子議長は採決には加わりません。

常任委員会●活動報告

調査実施日／
平成24年1月19日、
3月8日

調査項目／
先進地調査、所管事務調査

総務

総務常任委員会(谷地善和委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 先進地調査(1月19日)

議会改革調査特別委員会第1小委員会と合同で、滝沢村における議会基本条例への取り組み、議会改革の取り組みについて、先進地調査を行いました。滝沢村は、議会基本条例調査特別委員会を設置し条例制定に向け活動中であり、本会議のインターネット配信、住民と議会との懇談会、議会報告会、新成人議会等を開催している全国トップクラスの改革先進議会でした。

2. 所管事務調査(3月8日)

新たに住民課を加え、所管課の平成23年度の主な事業報告と平成24年度事業計画について説明を受け、事務調査を行いました。

また、閉会中の継続調査事項は次のとおりとしました。

- (1) 自立するまちづくりについて
 - ・財政健全化について
 - ・定住促進について
 - ・廃屋空家対策について

調査実施日／
平成24年2月10日、
3月8日

調査項目／
所管事務調査、請願・陳情審査

教育民生

教育民生常任委員会(加藤真純委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(2月10日)

医薬分業により行政コストを下げた診療所の経営改革について、診療所事務長より聞き取りを行いました。

2. 所管事務調査、請願・陳情審査(3月8日)

学校教育課より小学校の適正配置について、社会教育課より温水プールの指定管理の経緯について聞き取りを行いました。また、情第1号「医療従事者の増員と夜勤改善で安心・安全の医療・介護を求める陳情書」の審査を行い、不採択にすべきものとなりました。また、閉会中の継続調査事項は次のとおりとしました。

- (1) 小学校の適正配置について
- (2) 診療所のあり方について
- (3) スポーツ振興のあり方について

調査実施日／
平成24年2月13日、
2月23日、3月8日

調査項目／
所管事務調査

産業建設

産業建設常任委員会(川口一男委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(2月13日)

土地改良区に係る水路問題について、農林課より聞き取り調査を行いました。

2. 所管事務調査(2月23日)

「平成23年度主要事業説明および平成24年度重点事業について」
上下水道課、地域整備課、環境対策課、農業委員会、観光商工課、農林課より聞き取り調査を行いました。

3. 所管事務調査(3月8日)

地域整備課より聞き取りを行い、特に今年度の除雪の苦情・除雪費が追加になった理由について

- (1) 除雪車オペレータの交代により不慣れだったため
- (2) 日中の気温が低い日が続いたため
- (3) 西山・御明神地区の吹き溜まりの除雪に毎日稼働した
- (4) 出勤する積雪量を検討をしてくこととしたとのことでした。

また、閉会中の継続調査事項は次のとおりとしました。

- (1) 農業・観光の振興策について
- (2) 特産品の開発について
- (3) 産業振興について



質問者／
はば ひでや
幅 秀哉 議員

震災では何不自由のない生活から、
光が無い、情報が無い、
燃料が無い、
心細い思いしたよね

チヨット
ひとりごと

※ デスティネーションキャンペーンの取り組みは

町長／着地型旅行商品の販売促進を図る

幅議員 今年4月1日からのデスティネーションキャンペーンにむけて、魅力ある商品を提供し集客を図るとしているが、具体的な商品企画、他地域との連帯の手法はどう考えているか。

町長 県内関係者による推進協議会を組織し、各自治体の広報紙やテレビCMなどで周知しながら展開する。盛岡市・滝沢村と連帯開発した着地型旅行商品の「新相乗りタクシー」の販売促進を図る。盛岡を起点とし、雫石・滝沢を周遊後、鶯宿・つなぎに宿泊。翌日平泉に向かうプランである。この商品を効果を持続させ観光客込数の増加に取り組む。

防災への取り組みについて

幅議員 地球規模の大災害を教訓としての防災計画やマニュアルの見直しなどの防災対策は。

町長 震災直後に地域コミュニティの自主防災組織が対応できた。防災行政無線の情報伝達体制の強化として電話対応サービスを開始し、各関係者への戸別受信機の配備を完了した。今後は各地域の避難所の必要最低限の光源・電源の確保のため投光器・発電機の配備を見込んでいる。太陽光発電・蓄電設備の整備計画を県に提出し、25年度配備を目指し進めている。24年度新設の防災課を中心として素案を検討し、町防災会議で町地域防災計画の見直しを行う。

第6次産業への取り組みは

幅議員 6次産業化へ推進として、施設・設備の整備や販促助成、市場調査などに支援するとしているが、具体的助成制度、手法は。

町長 県のいわて農林水産業6次化チャレンジ支援事業の後押しをしている。町としては23年度から重点事業のアグリビジネス応援事業、加工施設や農家レストランの整備の支援をしている。町主催の農産加工セミナーや県・普及センター開催の技術研修会・交流会、先進起業家への訪問研修など、きっかけづくり、環境づくりをしている。国・県の制度活用に関しては、制度利用希望者と県担当や岩手県中小企業団中央会専門指導員が計画や商品開発を一体となって取り組んでいる。



*デスティネーションキャンペーンとは

Destination (目的地・行き先) と Campaign (宣伝) の合成語で、地域とJRグループがタイアップした全国大型観光キャンペーン。岩手県では4月1日から6月30日まで「いわてデスティネーションキャンペーン (いわてDC)」が開催されている。

■他にこんな質問もしました

- ・消防団員を守るマニュアル作成は
- ・3.11震災の時、町として一番困った事は何か

中学校の耐震化は急務だよ。

チヨット
ひとりごと



質問者
／
谷地善和
議員

栗石中学校の耐震化を急げ

教育委員長
／
確実に実施

谷地議員 中学校は耐震2次診断で強度不足が指摘された。これは構造的な安全上の大問題であり耐震化の先送りは許されない。一向に進展しない理由は何か。

教育委員長 校舎は昭和50年度に建設され37年が経過した。当時は生徒数が878人で21学級あったが、今は441人13学級と半減している。このようなことを踏まえ、耐震改修工事と改築工事の両面で検討してきたが、多額の費用を要するために耐震化の必要性を十分認識しながらも、なかなか取り組めないでいた。しかし、子どもたちの安全を守るという観点から早急に方向性を出し、耐震化に取り組んで行く。

谷地議員 もう少し具体的な耐震化の中身を事務方に尋ねる。

学校教育課長 改築を考えない場合、平成25年度に実施したいと県に計画を上げている。

谷地議員 改築ではないということか。

学校教育課長 当然町長判断で改築の方向になる可能性もあるし、このまま耐震補強という工事に進む可能性もある。

谷地議員 町長の施政方針演述では中学校の耐震化に全然触れていない。どのように考えているのか。

町長 中学校の耐震化については、担当課といま詳細にわたっているんな打ち合わせ

をしている。確実に実施して行きたい。

国保税の徴収を8回から12回に
谷地議員 国保税の納税義務者は、高い国保税に悲鳴を上げている。少しでも未納者を出さないためにも、1回当たりの納付額を下げるために、国保税の徴収を4月から3月までの12回にできないか。

町長 県内の自治体では8回の納付回数が最も多い。支払いが困難な方に対しては納税相談を行い、状況に応じて支払い回数を増やすなど負担の軽減を図っているが、今後ともより納税しやすい環境を整えるよう検討する。

谷地議員 今年は介護の見直し、後期高齢者の見直しがある。国保の保険税も見直すのか。

保険課長 最終決断は町長になるが、もしも税率改正等に舵を切る場合は平成26年度以降になると考えている。



耐震強度不足が懸念される栗石中学校



質問者／
いわもちきよみ
岩持清美 議員

チヨット
ひとりごと

町長の兼業についてどう考えるか

町長／土地改良区副理事長、(株)しずくいし社長は交代

岩持議員 議員には兼業禁止があるが、町長は土地改良区の副理事長となっている。今回の水利権の取得に関して不透明な決まり方、公表があったが、町長という立場と副理事長の立場、補助金を出す立場と使う立場ということは制限が必要ではないか。

町長 補助金がある団体に対し関係あるものが職にとどまるべきでないことは土地改良区に伝えた。また、道の駅については社長を辞任して新社長を選任する。

冬季における水路の水の確保は

岩持議員 地域水ネットワーク再生事業支援^{*1}について、安全・安心のため、いつの時期でも、どこでも、町内の水路にはふんだんに水がある^{かんがい}を多くの町民が切に望んでいる。非灌漑期の水利は環境保全、防火用水等として利用されることが大半だと思うので、その対応と町補助金交付基準^{*2}の率を例外的な取り扱いとする理由は何か。

町長 水問題の水系の総世帯数3,440世帯のうち農業世帯は1,739世帯で、消防水利の充足率は86.5%となっており、地域用水としての役割を果たしている。

補助率を例外的な取り扱いとする理由は、農家に新たな負担が発生しないことや、計画流域においても多くの住民生活にもその機能が活用されること、公益性が高いことなどから判断した。

町長選公約の実現は

岩持議員 町長はマニフェスト2010において、町内農業総生産額5%増、町民所得10%増、新規雇用創出などを掲げたが、平成24年度町政運営にどの程度盛り込まれたか。

町長 「道の市構想」については、総合計画の中にポイントとして取り入れ、農産物、人材派遣などを集約したい。農用地の町借り上げは、農業者戸別所得補償制度の実施の中で、面的な集積を促進する。また農業に対する本格的な指導体制の組織を作り、指導員を増員したい。農業経営安定対策では、新生農林業懇話会を開催し、雫石のブランド化を進める。

新規雇用については、ふるさと雇用再生特別基金事業で平成22年度22名、平成23年度26名が雇用された。また、引き続き新規高卒者の雇用に助成し、10人分の予算を措置した。町内中小規模事業所の指導機関に対しては、経営改善普及事業、地域総合振興事業の補助金を交付して支援していく。



日影頭取口

*1平成24年度予算として、地域水ネットワーク再生事業（事業費25,000千円、うち国庫補助金1/2）として、雫石町土地改良区へ9,375千円が町から補助金交付される予定
*2雫石町補助金交付基準では、補助率は原則として事業費の2分の1以内で、例外的な取り扱いをする場合はその理由を明確にする必要がある。



質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明 議員

介護保険料は長期見通しを立てた上で適時適切に設定するべきだ。一気に上げたりでは行政の信頼を損なう。

チョット
ひとりごと

南昌道路の県道昇格への取り組みは

町長／平成25年4月をめどに進めている

杉澤議員 町道雫石環状線の一部区間、通称南昌道路の県道への昇格移管の取り組み状況はどうなっているのか。

町長 町から県に移管する区間としては、町内安庭桂地内県道紫波雫石線と町道桂線の交差点部分から町道桂線を含む南昌第1トンネルまでの区間とし、県から町に移管される区間としては、県道矢巾西安庭線の町内区間とすることを確認している。移管を完了する時期については、今後の諸事項の調整によるところもあるが、平成25年4月をめどに準備を進めていることを共通認識として確認している。

介護保険料の大幅上昇の理由は

杉澤議員 第1号被保険者の基準月額保険料が4,740円と1,402円の大幅な上昇となったが、一気に上げなければならない理由は何か。

○第1号被保険者の介護保険料

所得段階	基準月額保険料	負担割合 (係数)	年額保険料	
			21～23年度	24～26年度
第1段階	4,740円 (3,338円)	0.50	20,100円	28,500円
第2段階		0.50	20,100円	28,500円
第3段階		0.75	30,100円	42,700円
第4段階		1.00	40,100円	56,900円
第5段階		1.25	50,100円	71,100円
第6段階		1.50	60,100円	85,400円

※基準月額保険料の()内は21～23年度の保険料。所得段階は第6段階が1番高い層を示す。

■他にこんな質問もしました

- ・雫石町観光・交流活性化行動計画(案)について
- ・平成24年度予算案について
- ・施政方針演述について(物産振興策、(株)しずくいしの役割)



質問者／
うわのみよじ
上野三四二 議員

チョット
ひとりごと

町長専用車は使用しないと
言うが、公務安全性のためにも
使用してはいかがでしょうか。
乗らないで置いていても維持費
はかかっていますよ。

遊休地など町の不稼働資産の有効活用は

町長／官・学共同研究プロジェクトを立ち上げる

上野議員 町有資産のうち、遊休、不稼働資産に属する固定資産、有価物がみられる。一般企業であれば健全経営を図るため不稼働資産など除却処分が原則であるが、土地、建物、設備など（町長車含む）で未利用物件の活用および有価処分をどう考えているか。また分類上は消耗品となっている2万円以下の小備品や拝受（もらい物）品は相当あると思われるが、保管管理、台帳保全をしているか。

町長 平成24年度中には、町有財産の利活用や処分についての基本的な考えを決めたい。総合計画を進める上で、モデルプロジェクトとして早稲田大学との官学共同研究で未利活用地の利用計画を進める。旧落葉果樹試験場跡地は、福祉、医療や農地利用を含めて複合的、総合的なランドデザインを作り、付加価値を上げる計画を考えている。上野議員が提言している南畑地域のスポーツエリア構想も地域参加のプロジェクト共同研究のテーマであると思っている。小備品、拝受品の保管は、台帳登録による受払記帳を省略し、課ごとに課長の責任で使用保管している。

基幹産業の取り組み姿勢をもっと積極的に

上野議員 平成24年度の産業振興に係る主要事業を見れば、国県などの呼応にとどまり網羅的である。町の産業実態、

人口動態、住民ニーズを見極め、自立の町を掲げるのであれば、特に町独自の産業振興を具体的、積極的に取り組む姿勢が必要である。机の上の展望ではなく農林業、商工観光個別の具体策により、行政として実践行動を示し支援すべきと思うが考えを聞きたい。

町長 平成24年度重点事業として産業育成と経営支援の強化のため、地域産業支援強化事業を継続していく。農業面では、町アグリビジネス応援事業を実施し、6次産業化の取り組みを支援し新規就農、農地集積事業にも取り組む。林業関係では、間伐材の有効活用と流出防止、森林の荒廃に歯止めを図る。観光面では、いわてデスティネーションキャンペーンや東北観光博などとも連携して誘客に努める。新設の観光大使制度を活用し観光復興を図る。



活用が望まれる旧落葉果樹試験場跡地

クリーンエネルギーの質問は
詰めが
甘かったかな？

チヨット
ひとりごと



質問者
むらたあつお
村田厚生
議員

村田議員 平成24年度の重点事業における環境保全・景観形成事業の中に、町民の環境に対する意識を高めるとともに、クリーンエネルギーの導入を促進するとあるが、これまでの取り組みと今後の事業展望は。

町長 平成22年に雫石町環境基本計画を策定し、環境への意識の高いまちを目指すことを環境目標の一つに掲げている。これまで環境講座の開催やパネル展示、学校での水生生物調査等を実施してきたが、平成24年度においては環境講習会を開催する予定である。

クリーンエネルギーについては、今までは公共施設に太陽光発電システムやチップボイラーを導入してきたが、平成24年度においては、町民に対し住宅に太陽光発電システムやペレットストーブなどの木質燃料燃焼機器の設置に対する補助を行い普及拡大に努める。

当町の観光産業の再生手段は

村田議員 観光発信事業として、町観光・交流活性化行動計画に基づいた事業展開、観光大使制度の活用、いわてデスティネーションキャンペーンと連動した商品開発等を目標として掲げているが、社会経済環境の変化の中、低迷、衰退しつつある当町の観光をどのように再生させるのか。

町長 町観光・交流活性化行動計画の推進により、全国的な観光動向の変化に対応できる施策を展開し、観光客の増加を図って観光産業の活性化に向けた取り組みを強化し

ていく。

観光大使は当町にゆかりのある各方面で活躍している方々を委嘱して町のイメージアップやPRを強化するとともに、雫石町観光大使フォーラムを開催して産業の活性化等に活用する。また、いわてデスティネーションキャンペーンについては、期間中は盛岡市、滝沢村と連携した着地型旅行商品の販売促進を行い、キャンペーン終了後も3市町村が連携し効果の持続に取り組んでいく。

小学校の適正配置の検討は

村田議員 学力をはぐくむ環境整備事業の中では、小学校適正配置検討委員会を設置し、子どもたちの学習環境と学校規模適正化の検討に取り組むとあるが、小規模学校の子どもたちにとって、将来的にどのような学習環境が望ましいのか。

町長 今後、学校の小規模化は避けられない状況にある。小学校の適正配置について教育委員による協議を行っており、地域の背景、学校規模の大小のメリット・デメリット等を踏まえ、選択肢を整理し、統合した場合の教育効果や学習環境、生活環境等について検討中である。平成24年度には、有識者、学校関係者、保護者、地域住民等による雫石町小学校適正配置検討委員会を設置し、基本的な方針を検討する。子どもたちの教育のあり方はどうあるべきかを最優先に考えなければならぬと思っている。

町長／
対象機器設置に対し補助金を支出
クリーンエネルギーの導入促進展望は



質問者／
まえだ たかお
前田隆雄 議員



特徴を生かした農畜産物の生産とそのPRは

町長／品質と生産量が必要

前田議員 当町の農業を支えていくためには、「雫石の・・・」といった、当町の特徴を生かした農畜産物の生産と、内外に広くPRしていく取り組みが必要と思うが、所感を伺いたい。

町長 当町ならではの、農畜産物として町内外から認知していただくためには、品質はもちろん、生産量、生産額において県内有数の実績が必要になると考える。そのためには、農家の生産意欲の高まりが必要であり、JAをはじめ関係機関・団体と協議し、支援のあり方を検討しつつ「農業経営安定対策検討協議会」を創設したいと考えている。

観光客誘致について

前田議員 東北地方の観光振興に向け、「東北観光博」「いわてデスティネーションキャンペーン」東北六県のお祭りを1カ所に集約した「六魂祭」などが開催され、当町の「誘客」においては、ビックチャンス到来と思うが、どのように取り組んでいこうとしているか。

町長 これらのキャンペーン・イベントは、当町の観光振興に対し絶好の契機が到来であり、その効果を持続させるため、情報発信や着地型旅行商品の開発などを行い、キャンペーン・イベント終了

後も本町を訪れて頂けるよう取組む。

「何度でも行きたくなる町」を目指す必要性
前田議員 駅、鶯宿温泉、道の駅を結ぶ循環バスを有料低運賃で運行というような事業は考えられないか。

町長 本町を訪れる観光客の旅行形態や観光施設等の送迎状況の分析を行い、循環バス運行も含め、事前予約制のレンタカーなど、多様な観点から将来にわたり持続可能な二次交通の手法を検討したい。



観光の重要な窓口となる銀河ステーション

*東北観光博覧会とは

「ここをむすび、出会いをつくる。」をテーマに、東北を28の個性あふれるゾーンに分けて東北をまるごと博覧会場とした観光イベント。2012年3月から2013年3月まで開催されている。

■他にこんな質問もしました

- ・特産品開発について
- ・コテージむらにグランドゴルフ場の整備はできないか



礼に始まり
礼に終わる。
これが肝心だよ。

チヨット
ひとりごと



質問者
かわぐちかずお
川口一男
議員

川口議員 平成 20 年 3 月 28 日に中学校学習指導要領の改訂を告示し、今月 4 月より中学校の保健体育において武道、ダンスを含めたすべての領域を必修とするとなっている。武道は我が国固有の文化であり、礼で始まり礼で終わる伝統的な考えを理解し、相手を尊重することは、今の子どもたちにとって大事なことである。雫石中学校では何をやるか見えないが、伺いたい。

教育委員長 体育教員による指導と学校の施設整備、用具などの整備状況を考慮して、柔道を体育の授業で実施する。

川口議員 指導体系はできているか。また事故対応、対策はできているか。

教育委員長 指導は体育教員が行うことになるが、盛岡教育事務所管内の半数以上が初段を有する柔道の経験者であり、また県教育委員会と県柔道連盟が共催で実技指導者講習会なども実施することになっている。

事故対応については、次の点に留意して事故防止、対応することとしている。

1. 指導前に生徒の健康状態について把握し、指導中の体調の変化等に気を配り、生徒が自身の体調に異常を感じたら運動を中止させることを徹底させること
2. 指導に当たっては、生徒の技能に応じた指導をす

- ること
3. 施設や用具等の安全点検を行うなど、練習環境に配慮すること
4. 事故が発生した場合の応急処置や緊急連絡体制など対応方法の確認を徹底すること

以上のことを留意して授業を進めることとしている。

川口議員 中学校の学力向上指導員の給料は県費か。

学校教育長 町の単独経費である。

川口議員 雫石中学校は、指導員まで付けなければ大変なくらい教育レベルが低くなっているのか。

教育長 数学と英語については県レベルよりも低い状況であった。平成 24 年度からの全国学力調査については理科も加わるため、数学、英語、理科の 3 教科について、普段の授業の指導方法について指導していただくため、学力向上指導員をつけたいと思っている。



柔道の授業の様子

中学校保健体育に武道、ダンスが必修となったが 教育委員長／雫石中学校では柔道を行う



質問者／
にしだまさひろ
西田征洋 議員



町の安心子育て医療費給付を高校生までにすべきでは

町長／他市町村の動向を見ながら検討したい

西田議員 町の中学生までを対象にした医療費の単独助成は町民に大変好評だ。私たちの実施したアンケートでは高校生まで助成を拡大してほしいという声が強かった。子育て世代の経済状態が逼迫している今、助成対象を子どもすべてにまで拡大することで町の安心子育て医療費給付事業としての一貫性の完成を図るべきではないか。

町長 当該制度は他市町村と見比べても助成内容が充実していると認識しており、今後のことは他の動向および情報を収集して検討していきたい。

保健課長 高校生までを助成対象にすると、新たに約800万円の事業費の増と推計される。

消費税増税のいろんな分野への影響は

西田議員 消費税は低所得層ほど負担感が大きく、また被災された人たちにも重くのしかかる、庶民にとって最悪の税金だ。この増税での町行政を含めたいろんな分野への影響と町長の見解を伺う。

町長 消費税増税で町への国からの税収は幾分か増えるものと予想されるものの、個人消費の冷え込みや企業活動への影響で景気の悪化や税収の減少が懸念される。また当町の事業にも2億円以上の負担増が見込まれ、さらに農家を含む町内の事業所のほとんどが消費税を価格に

転化できないと思われ、今回の消費税増税は時期尚早ではないかと考えている。

西田議員 町の農林業行動計画を推進させるように販売価格の一部に町の助成を直接上乘せすることを検討できないか。デフレ克服を宣言することにもなるが。

町長 既存制度の良さを生かした農林行政を進め、町単独の価格上乘せの制度化はいまは考えていない。



町では中学生まで医療費を単独で助成している

臨時会

平成24年第1回臨時会が2月16日に開催され、
 雫石町東日本大震災復興基金条例の制定および平成
 23年度雫石町一般会計補正予算（第6号）につい
 て審議・採決されました。

■条例の制定

○雫石町東日本大震災復興基金条例の制定について
 東日本大震災からの復旧・復興に資する事業の財
 源とするための基金として、雫石町東日本大震災復
 興基金（当町への基金交付額30,986千円）を設
 置するための条例制定（平成24年2月17日施行）

■一般会計補正予算

○平成23年度雫石町一般会計補正予算（第6号）

補正前の額	補正額	計
86億155万2千円	6,264万7千円	86億6,419万9千円

- ▶東日本大震災復興基金積立金 3,098万6千円
- ▶町道除雪事業業務委託料 2,551万0千円
- ▶給食備品購入費（放射線測定器2台） 500万0千円

■主な質疑

問 除雪費は前年度決算では6,400万円ほど
 だったが、今年度は今回の補正額を加えると
 6,571万円になる。この原因は何か。

答 12月、1月の作業時間の増が除雪費増額の
 主な原因だが、燃料費の高騰による単価増でも
 若干増額となっている。

問 放射線測定器はどこに置き、どう活用するの
 か。

答 現時点では、1台は雫石小学校が雫石中学校
 に置いて給食の食材や出来上がりのものを検査
 することになっている（現在、雫石小学校に設置
 済み）。もう1台は、役場庁舎内の環境対策課
 前の通路スペースのところに置き、保育所など
 給食を提供する施設が食材を持ってきた際には
 環境対策課の職員で対応することを考えている。

平成24年第1回雫石町議会臨時会 議決結果等一覧

会期：2月16日（木）

議案番号	議案名	議員名																採決結果			
		田屋 篤愛子	幅 秀哉	岩持 清美	山崎 留美子	加藤 真純	杉澤 敏明	川口 一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	村田 厚生	田中 栄一	大村 昭東	上野 三四二	坂下 栄一	坊屋 鋪俊一		平子 忠雄	煙山 惣右衛門	石亀 貢
議案第1号	雫石町東日本大震災復興基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	可決
議案第2号	平成23年度雫石町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

議会改革特別委員会 その3

各小委員会の検討を終了した調査事項について協議がなされ、改革に向け新たに取り組む事項を決めました。

第3回特別委員会（全体会、H24.1.19開催）

- 雫石町議会のホームページの内容を充実するため、会議録や議案審議結果など現状の内容に加え、「議長メッセージと議会活動スケジュールを掲載」する。
- 平成24年度からホームページ掲載の会議録から質問や答弁を容易に検索できる「検索システムを導入」する。

第4回特別委員会（全体会、H24.3.8開催）

- 議会を傍聴する方に対し、一般質問通告一覧に加えて、6月定例会から資料として「質問要旨も配布」する。
- 議会の会議内容を公開するため、「常任委員会審議記録（会議概要）をホームページに掲載」する。



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



ささき えいこ
佐々木 栄子さん
(56歳・鶯宿行政区)



とくだ すみお
徳田 澄夫さん
(65歳・黒沢川行政区)



とりい よしひろ
鳥居 義弘さん
(55歳・網張行政区)

温泉街のにぎわいをもう一度

私は鶯宿温泉で生まれ育ちました。鶯宿温泉は開湯450年の歴史があり、お湯は無色透明の単純硫化水素泉で、神経痛やリウマチ、美肌に良いとされており、たくさんのお客様にご利用頂いております。

鶯宿川沿いに22軒ほどの旅館・ホテルが営業しており、湯量が豊富でほとんどが源泉掛け流しです。中心部には足湯公園もでき、景観も良くなりました。

現在鶯宿温泉には、老人憩いの家と、町民憩いの家の2つの入浴施設がありますが、どちらも老朽化が進んでおります。この2つの施設を1つにして、町民の方々の憩いの場を、そして観光客も気軽に利用できる温泉施設ができれば、もっともっと利用して下さる方が増えると思います。

最盛期であった昭和40年代の温泉街のにぎわいを、もう一度見てみたいと思っております。

今こそ産業振興に本腰を

バブル崩壊のころ、ある企業の新年会で銀行の支店長と同席することになった。金融機関の破たんが続いたころでもあり、支店長は酔いが回り「うちの銀行もつぶれるとの風評があるが、その前に破たんするのは地方自治体だ」と暴言を吐いた。テーブルに同席していた招待者一同は祝いの酒もさめてしまう雰囲気となった。

国、地方自治体財政の健全性の指標はいろいろあると思われるが、少なくとも雫石町一般会計の町債残高(借金)に関しては、平成9年度末のピーク時108億円から平成22年度末には69億円までに圧縮、さらに平成27年度までに50億円以下を目指すとされている。

自主財源減少傾向の中で大変な努力だと思う。緊縮予算で身動きの取れない町政に同情する一方、債務超過に陥った夕張市の二の舞となるようなことだけは、絶対に避けてほしいと複雑な思いだ。

私は、こうした厳しい財政状況下にあっても、これ以上の自主財源減少とならないように、町内産業の育成・振興に本腰を入れて取り組んでもらいたいと思っている。

活気ある議会に

最近、町議会を何度か傍聴していますが、日々諸問題に取り組んでいる議員および町長、町職員の皆様には敬意を表します。

しかし、実際に傍聴してみると、内容自体には改善の余地があると感じます。

傍聴者用の資料が乏しく議事内容が分かり難い上に、進行中の議事が突然別の質問になったりする。こうなると、私ごときの頭では混乱し、訳が分からなくなってしまいます。

しかし、議会を構成する町長・議員を選んだのは紛れもなく我々町民。自分が選んだという責任を自覚し、選ばれた人たちの仕事を頻繁に確認することにより、改善され、もっと緊張感と活気のある議会になっていくのではないかと思います。



たけだ けんざぶろう
在京雫石町友会 幹事 **武田 賢三郎**さん

義理と人情と恩返し
しが人生訓

“東京サ行ってトミをイサつれてこい”旧御所村の「長八つと」の主人広瀬長吉の長男長八が東京目黒に迎えに来たのは、空襲が始まりつつあった昭和19年3月であった。目黒には父、長女、長男が残り、母、次女、三女との4人で母(旧姓広瀬トミエ)の実家に着いた時、待っていたのは初めて見る大雪だった。長八つとは大きな家で、その奥座敷に同居させてもらった。4月下旬、“トミ”はいるかと丸顔で早口のオジサンがきた。来宅したのは細川与左衛門村長だった(母の大叔父)。“へやっこめかったから、そこさすめ”と戸沢の元駐在所官舎を与えられ、同時に2反歩の畑も貸与された。

長八つとは資産家で、母の祖父の広瀬長治郎は土地2町歩と多くの木材を寄贈し安庭小学校の設立に貢献した。安庭国民学校に4年生で転じた時、他に3人の疎開児童がいた。同級生は60名だったが約半数が鬼籍に入っている。新生活は苦難の道程であった。肥料用に落ち葉集め、馬車をおいかけ馬糞拾い。病弱の母を助け苦とも思わず働いた。5年生の時、佐藤至弘先生(元ホテル大観社長)に卓球を教わり、中学では村上国男先生(元まるや旅館社長)に野球を教わりのめりこんだ。後の進路を示してくれた恩人たちである。

高校合格時に真っ先に来訪してくれたのは高橋弥右衛門氏(元小学校長)。返還不要の奨学金制度を進めてくれた大恩人の一人である。高校時代は卓球部で先輩達と東北大会、全国大会へと貴重な経験をさせて貰った。大学生活は父の病死に遭遇しバイトごんまいで困窮した。バイト先の有名人より「世の中に必要なことは義理と人情と恩返しだぞ。恩返しとは後輩を育てること」と教わった。今もこの言葉は絶えず念頭においている。

商社時代は大変恵まれ、尊敬できる誠の紳士の上司が多かった。昭和46年の全日空機墜落事故では狭心症で入院中の身で帰郷。長八つとの山も含まれており、山中で見た痛ましく残酷な光景に言語を絶した。赤松林で松茸の採れる丸秘の場所とも聞いていた。

現在はオリンピック候補養成のための中高生へのバドミントン指導および中高年者の健康維持増進のためグラウンドゴルフ指導を恩返しの一環として行っている。年に2、3度戸沢の実家に帰るが盛岡に近づく車中よりの岩手山(登山経験あり)には身震いが止まらない。多くの方々の御恩と愛情、慈悲により育まれた心情が根深い証拠であろう。現在雫石で活躍中の同級生、諸兄、諸姉にも心よりの謝意を表したい。



秘蔵っこの中高生たちと(中央が筆者)



目黒区GG協会の仲間たち(右端が筆者)

武田 賢三郎さんプロフィール

昭和9年東京(目黒区)生まれ。安庭小学校—御所中学校—盛岡一高—国際学園—東京教育大学—朝日放送—矢野上甲(三井系)—東京興産—武田貿易商会。

日本体育協会公認上級スポーツ指導員(バドミントン)。日本体育協会公認グラウンドゴルフ公認指導員(グラウンドマスター)。

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



夫の智宏さん、長男の真翔ちゃんといっしょに

ご縁があり、町外から迎えられた

「お嫁さん」や「お婿さん」が登場します。

ながさわ あゆみ
長澤 歩さん（32歳 大船渡市立根町出身）
（旧姓：今野、上和田野行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？

- 共通の友人を通して知り合いました。

Q- 雫石町で暮らしてみているいかがですか？

- 雫石に来て2年ほどたちましたが、とにかく雪の多さには驚いています。大船渡は雪が降っても、その日のうちに消えてしまう程度なので、雪で前が見えなくなることにはまだまだ慣れません。ただ、市街地への便も良く、自然豊かで子どもが外で学べる環境が多くあるところは、大船渡とはまた違う魅力があると思っています。

Q- 町に望むことは？

- 高齢者福祉への対策や支援は多々あるように思いますが、町の将来を担う子どもや、その親世代への支援が足りないような気がします。雫石町の人口減少や産業を守るためにも、子どもや若者への支援を増やし、若者が魅力を感じられるようなまちづくりをしていただきたいです。

Q- 震災の影響はありましたか？

- 実家は海から遠く離れており家族は皆無事でしたが、仕事に出ていた父の車は津波にのまれてしまいました。それでも家族の命があったことを感謝せずにはいられません。1年がたつて街は少しずつ整備されていますが、変わり果てた故郷の姿を見るたびに心が痛みます。

議会を傍聴 しませんか

.....
**次回の定例会は
6月上旬に
開会予定です**
.....

～傍聴席は4階にございます～
議会事務局 ☎ 692-6596

議会の話題をお知らせします

**＊ ＊ 議会広報全国コンクールで
優良賞を受賞！ ＊ ＊**

「しずくいし議会だより」が平成23年度の町村議会広報全国コンクールで優良賞に入賞し、岩手県町村議会広報コンクールでも入選1席の栄誉に輝きました。全国コンクールの入賞は4年連続の快挙になります。

町民の皆様にも「声」の欄をはじめ、さまざまなご意見やご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も町民の皆様にご読みやすく親しみやすい広報紙をお届けできるよう努力してまいりますので、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（1月～3月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
1	0件 -円	6件 28,000円
2	0件 -円	6件 22,300円
3	1件 20,000円	7件 21,000円
小計	1件 20,000円	19件 71,300円
平成24年累計	1件 20,000円	19件 71,300円

●今号の表紙／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子どもたちの様子を紹介。今回は、「大村小学校」に通う児童たちの笑顔です。